

チャリティウォーク&ランフェスティバル 10周年記念イベントを開催

スポーツの秋らしい爽やかな日曜日、10月21日に、皇居周辺を「歩き&走る」SON東京恒例のイベント「チャリティウォーク&ラン(W&R)フェスティバル」が開催されました。今年はいつものレースイベントに加え、W&R10周年を記念したカルチャーイベントが、ニッポン放送のイマジンスタジオで行われました。

「W&R」午前の部・タイムトライアルレースでは、SONドリームサポーターの森理世さん(2007年ミスユニバース世界大会優勝)が、颯爽とスターターを務めてくださいました。レースは10km(皇居2周)と5km(皇居1周)で70名を超えるランナーが健脚を競い、男子10kmの最速タイムは山内勝隆さん、2番目も福沢大輝さん、また女子5kmも谷口美奈さんが最速と、アスリートの活躍が目立ちました。

午後の部・宣言タイムレース(事前に申告したタイムにいかに近づけ

られるかを競う)は、企業・団体47チームが参加。東京海上日動ビル新館食堂で、アスリートとチャリティランナーとの交流会で幕を開けました。

終第4区をペアで“走る&歩く”アスリートとの顔合わせは、賑やかで楽しい雰囲気があふれていました。

レースは桜田門からスタート、竹橋、千鳥ヶ淵、再び桜田門とリレーし、竹橋のゴールを目指して、出場全チームが見事に完走しました。

再び東京海上日動ビル新館食堂で表彰式が行われ、優勝は宣言タイムとの誤差7秒の「東京消防庁東消総務課Bチーム」、2位は誤差10秒の「富士ゼロックス端数倶楽部」、3位は誤差12秒の「東京海上日動メディカルサービス株式会社Cチーム」でした。会場ではチーム名が呼びあげられるたびに、大きな歓声があがりました。



アスリートの山内勝隆さんは2連覇



タイムトライアル表彰式 森理世さんとご来賓の枝廣泰俊さん



5km(アスリート男子) 優勝おめでとう



司会、走者として協力。ニッポン放送アナウンサーの五戸美樹さん



チームフラッグはみんなで作りました



宣言タイムレース スタート!



第2走者にタスキを繋ぎます



笑顔のゴール!



ベストフラッグ賞は、三井物産(株)アクティブらんな〜ズ



優勝は東京消防庁東消総務課Bチーム



協賛企業の皆さん、ありがとうございました

10 周年記念イベント

インクルージョンを 大・丸・有 (大手町・丸の内・有楽町) から始めよう

ニッポン放送イマジンスタジオでは、午後1時半から「インクルージョンパート1」、続いて3時半から「パート2」が元気に、華やかに開催されました。

「パート1」はアート&ミュージックイベントです。「みんなでつくる夢のまち」と題し、2つのテーブルに分かれ、1.1m×5mの大きな画用紙に、アスリートとボランティアと一緒に、お店や動物、植物、好きなものを描きました。真っ白だった画用紙は色とりどりの個性溢れる絵が描かれ、2つのテーブルの絵が合体し、大きな夢の街が出来上がりました。SONドリームサポーターの森さんも駆けつけて、スタジオに花を添えてくださいました。

ワークショップに続いて、ジャズピアニストの遠藤律子さんとFRVトリオによるコンサートがスタート。遠藤さんがおなじみの曲で会場を盛り上げ始めるとアスリート達は一気にヒートアップ! 会場は熱気に包まれ、素敵な音楽と笑顔でいっぱいになりました。

「パート1」の賑やかな雰囲気から打って変わり、「パート2」では、細川佳代子SON名誉会長が製作総指揮の「幸せの太鼓を響かせて～インクルージョ



アートワークショップが始まります

思い思いの絵を描きます

「みんなでつくる夢のまち」が完成

遠藤律子FRVトリオの演奏

ン～」と「天心の譜(しらべ)」のダイジェスト版、細川さんのビデオレターが上映されました。その後、「天心の譜」に出演したアスリート、田口麻紀子さんのヴァイオリンとピアニスト福田直樹さんの素晴らしい二重奏に、大きな拍手が送られました。

今年も絶好の秋晴れに恵まれ、10周年記念の2つのイベントを無事に終えることができました。ご寄付、ご後援、ご協賛・ご協力いただきました団体、企業、ボランティアの皆様、競技に参加された方々に心よりお礼申し上げます。

W & Rにご協力ありがとうございました

- 【来賓】**
枝廣 泰俊氏 (UBS証券株式会社 監査役)
三井 嬉子氏 (公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 会長)
- 【SONドリームサポーター】**
森 理世氏 (2007年ミスユニバース世界大会優勝)
- 【後援】**
東京都千代田区/東京商工会議所/公益財団法人彫刻の森芸術文化財団/株式会社ニッポン放送/一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会/公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
- 【特別協賛】**
UBSグループ (UBS証券株式会社、UBS銀行東京支店、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社)


- 【協賛】**
株式会社遠藤波津子美容室/株式会社大塚商会/株式会社サンオクス/株式会社スリーボンド/東京海上日動メディカルサービス株式会社/日本オーチス・エレベータ株式会社/マッコリーグループ/三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【物品協賛】**
アシックス労働組合/GARBAGE ART WORK/スエヒロ商事株式会社/東京コカ・コーラボトリング株式会社/株式会社日本ホールマーク/株式会社ビームス/富士ゼロックス端数倶楽部/マテル・インターナショナル株式会社
- 【ボランティア協力】**
あすか製菓労働組合/SONサポーター丸の内女子会/小野菜品労働組合/株式会社スリーボンド/東京海上日動火災保険株式会社/東京海上日動メディカルサービス株式会社/東京家政

- 大学/日本新薬労働組合/日本体育大学/株式会社パソナ/株式会社パソナハートフル/富士ゼロックス東京株式会社/富士ゼロックス端数倶楽部/株式会社みずほフィナンシャルグループ/日本ユニシスグループ/リシュモン ジャパン株式会社/株式会社ワークスアプリケーションズ
- 【協力】**
ableの会/株式会社サウンドマン/株式会社ディレクターズシステム/東京海上日動火災保険株式会社/東京海上日動ファシリテーズ株式会社/東京海上日動メディカルサービス株式会社/東京消防庁/公益財団法人東京YMCA/株式会社トランジット/株式会社ニッポン放送/社会福祉法人藤沢育成会/富士ゼロックス東京株式会社/NPO法人勇氣の翼インクルージョン2015
- その他にも多くの方々からご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

SO 支援型コカ・コーラ自販機、2機目が設置されました。

先日、渋谷区のアスリート宅に設置されたSO支援型自販機の第2号機として、SON神奈川のご紹介で、大田区の「株式会社ディスコ」に3台のSON 東京支援型自動販売機が設置されました。1号機同様、自販機の売り上げの一部が東京の活動費として寄付されます。9月24日(月)の式典には、株式会社ディスコ代表取締役会長の溝呂木 斉様、東京コカ・コーラボトリング株式会社の代表取締役社長兼COO ホセ・ルイス・カヨン様など、多数の関係者の皆さまにご出席いただき、テープカットを行いました。

今後、ご自宅や勤務先等で自動販売機の導入や入れ替えを検討されている方は、ぜひSON東京事務局までお問い合わせください。



出場選手を応援しましょう!

「2013年SO冬季世界大会・ピョンチャン」が、2013年1月29日から2月5日にかけて、韓国のピョンチャン(平昌)で開かれます。SON東京からは4名のアスリートが参加します。日ごろの成果を存分に発揮してきてください。みんなで大きな声援を送りましょう!

- アルペンスキー/金子 慎吾さん、松村 重尚さん
- フィギュアスケート/橋本 隼人さん
- ショートトラックスピードスケート/近藤 瑞穂さん

「2012年第1回SON関東ブロックフロアホッケー競技会」開催

7月28日(土)、空調の効いた江戸川区総合体育館を会場に、「第1回SON関東ブロックフロアホッケー競技会」が開催されました。SON東京と、SON神奈川、SON千葉、SON埼玉の各地区の協力で開かれた初めてのブロック競技会には、アスリート、ボランティア、ファミリー約300人が参加しました。

アスリートたちは日頃のトレーニングの成果を十分に発揮し、試合を重ねるたびに目を見張るような成長をとげ、見守るコーチ・ファミリーから賞賛の声が送られました。

また日頃フロアホッケー競技を実施している、SO以外のチーム『きさらぎjr』が特別参加。友好を深めるとともに競技の普及・発展の手がかりを作ることでもできました。



記念撮影



「2012年第1回SON関東ブロックボウリング競技会」開催

11月24日(土)と25日(日)、SON東京のプログラム発祥の地「東京ポートボウル」で、「第1回SON関東ブロックボウリング競技会」が開催されました。

「～深めよう絆ボウリング競技会～」と掲げたこの競技会には、東京、千葉、新潟、石川と群馬(設立準備

委員会)のSON各地区から100名近くのアスリートとコーチ・役員・スタッフ、たくさんのボランティア、ファミリーが参加しました。

24日は予選と交流会、25日は東京都スポーツ振興局長細井優氏、港区長武井雅昭氏、港区教育委員会

委員長澤孝一郎氏など来賓の方々をお迎えて開会式が行われ、SON旗・地区旗入場、選手宣誓、聖火入場などの後、始球式で競技が始まり、ベストスコアをめざして熱戦が繰り広げられました。



地区旗が揃って、開会式



選手宣誓!



ストライクが出るかな



表彰式

WORKING ATHLETES

働くアスリートたち 第16回 長谷川則子さん(56歳)

長谷川則子さんは、「田中産科婦人科医院」に勤めて9年になります。そこは、SON東京の設立に関わり、前副理事長の田中伸枝さんご一家が明大前で1952年から開業している病院です。

▶ アスリートを採用したい

長谷川さんは最初、寝台車のシーツなどのクリーニングをする会社で働き、その会社が引越したため、同業の会社を紹介されたものの倒産。その後は人工透析治療を受けるお父さんの世話を、お母さんとしていました。「お父さんが亡くなった後、お母さんも人工透析になって、看病のため仕事ができませんでした。お母さんが亡くなって、中学時代の先生が『すきっぷ』一緒に行ってくれました」

一方、田中さんは、世田谷区立障害者就労支援センター『すきっぷ』に求人申込をしていました。「感染症の病院ではないし、お掃除ならアスリートにもきっとできると思っていたのです。でも『女性はこないのでもう諦めてください』と断られた翌



ていねいにお掃除

月、『1人きましたよ』と、『すきっぷ』からの電話にすぐ飛んで行くと、就活のスーツを着てニコニコ出てきたのが長谷川則子さんでした。『この笑顔だ!』と採用を即決しました。赤ちゃんが生まれると『おめでとうございませう』と言ってお部屋を掃除するので、明るい人が一番なのです」

長谷川さんの主な仕事は、1階の待合室と休憩室、2階の入院用の8つの個室、そして入院の少ないときは3階の自宅の掃除や洗濯物の片付けもしています。「入院患者さんがたくさんいると忙しいです。よかったと思うときは、赤ちゃんが生まれたときです」「かわいいとじいっと見てしまっ、動かなくなっちゃうの」と田中さん。長谷川さんにとって、田中さんは「お母さんみたいな感じかな。何でも相談できます」

▶ 1人暮らしで、料理も得意

仕事に慣れてくると、田中さんからSOの活動に参加しないかと誘われました。先日、ニッポン放送イマジンスタジオのイベントにも1人で出かけました。中学時代の先生や後輩たちと銀座などで食事をすることもあります。

長谷川さんは、子どものときから住み続けた都営住宅で、お母さんが亡くなった9年前から1人暮らしをしています。「顔見知りの人も、相談できる人も何人かいます。新聞の勧誘の人には、奥様に見られます」

1人で困らないようにと、お母さんが包丁の使い方、お金の計算など厳しく教えてくれたそうです。「気をつけていることは、高血圧と糖尿病があるので、甘いものとか脂っこいものは多少食べますが、野菜中心にしています」

休日は掃除、洗濯、時間があると編み物をしたり。「セーターかチョッキを作りたいけれど、そこまでいなくて。魚の三枚おろしを勉強したいです」

長谷川さんは何度も勤続表彰を受けています。田中さんは、「ほとんど欠勤せずによく働いてくれるので、20人のスタッフの中の本当に大事な戦力です。怪我をしないように、これ以上太らないように、健康で長く仕事ができるようにしてほしいです」

アスリート会のクリスマス会にいつも手作りのりんごのワイン煮を持って行くそうです。今年も長谷川さんのおいしいデザートが楽しみです。

(アスリート会、ボウリングプログラム中野会場に参加)



長谷川さんと田中さん

フ ▶ アスリート: 近藤剛さん、瑞穂さん 父: 近藤昭彦さん、母: 清子さん

ホッ プ ス テッ プ ジ ャ Vol.2

プログラムに 親子で参加しています



近藤さんファミリー

近藤剛さん ● 1992年生まれ。2003年にSON東京入会。
近藤瑞穂さん ● 1995年生まれ。2008年にSON東京入会。参加プログラム 2人ともスピードスケート、体操、バレーボール

スペシャルオリンピックスにかかわるようになって間もなく10年。わが家には今年20歳になった長男の剛(つよし)と17歳になった長女の瑞穂(みずほ)という2人のアスリートがいます。

兄の剛は初孫で、双方のおばあちゃんから「男の子だから言葉が遅くてもあまり心配ない」と言われ、夫婦ともあまり気にしていませんでした。ところが、当時住んでいた相模原市の保健師さんから、6ヶ月健診でチェックが入りました。目が合いにくかったからかもしれません。

その後、保健師さんの勧めもあり、市の通園機関に通わせていたのですが、3歳を機に受診した大学病院のドクターから、「自閉傾向がある」という言葉を聞き、「何かしなければ!」という思いで、都内への転居を決めました。

そして、5歳から毎日通園の療育機関へ通い、自閉症にありがちな「マイペース」にさせず、他人に合わせる「ユアペース」を身に付けさせること。また、休日には家族でよく歩き、登山にもたびたび出かけるなどして、常用行動を抑え込み、ルールを教え込み、親の目がなくても指示に従えるようにしました。

とで、少しずつ成長してきました。

剛のSON東京参加は2003年春、ボウリングとサッカーのプログラムでした。当初はコーチの言うことをまったく聞かず、好き勝手に動き回るため、引率している母親のほうに疲れ果ててしまう始末でした。しかし、その年の10月に立ち上がったスピードスケート・プログラムへ参加した頃から、少しずつ変わっていったようです。スケートが性に合っていたのかもしれませんが。いつも楽しそうに滑る姿が見られるようになり、2004年冬季ナショナルゲーム長野、2008年冬季ナショナルゲーム山形、2009年アイダホ世界大会、2012年ナショナルゲーム福島と、大きな大会にも次々出場。SON東京スピードスケート・プログラムを牽引する存在にまでなりました。

瑞穂は現在、バレーボール・体操競技・スピードスケートに参加。父親がコーチをしていることもあってか、比較的わがままも少なく、熱心に練習に励んでいます。スピードスケートで、2013年ピョンチャン世界大会への出場が叶ったことは、その成果の1つといえるかもしれません。がんばって、いい思い出を残してきてほしいものです。

法人・団体・個人会員募集中

SON東京の活動は、法人・団体および個人の皆様からの会費と寄付金によってまかなわれています。

正会員 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員 (一口)年：3,000円～

郵便振込口座：00140-1-723232

※便利な口座振替をご用意しています。
※法人・団体会員については、事務局までお問い合わせください。

今後の予定

- ◎ 12月14日(金) 新生銀行クリスマスパーティ
- ◎ 1月12日(土) 水泳競技コーチクリニック
- ◎ 1月19日(土) SO冬季世界大会・ピョンチャン 東京選手団壮行会(予定)
- ◎ 1月20日(日) フィギュアスケートコーチクリニック
- ◎ 1月29日(火)～2月5日(火) SO冬季世界大会・ピョンチャン
- ◎ 3月9日(土) 定期総会

事務局からのお知らせ

SON東京事務局は、2012年12月31日(月) から2013年1月4日(金) まで、冬季休暇をいただきます。あらかじめご了承ください。

ボランティアをしてみませんか! 詳しくはHPをご覧ください。

活動に関心のあるアスリート募集中です。 お問い合わせ・お申し込みはSON東京事務局まで。

SON東京
オフィシャル
スポンサー

ThreeBond

UBS

200YEARS citi



富士ゼロックス東京株式会社

